

議会広報

第23号

2011.10.27

おみたま



～いい汗・いい友・いい小美玉 明日へ広げようこの絆～

(10月10日 第6回市民体育祭)

9月定例議会

H22年度 全会計を認定、シユーレ関連 審議の経過	P 2 - 7
29 議案等を4委員会では審査 (委員会QA)	P 8 -10
今後の市政運営をどう進める (一般質問)	P 11-17
プレゼントクイズ、市民の声ほか	P 18-19
11月20日 市議会議員選挙へ	P 20

平成23年第3回定例議会

9月5日～20日「決算議会」を開催

平成23年の第3回目となる定例議会が9月5日から20日までの会期で開かれ、平成22年度の決算認定を含む37件の議案等について審議しました。



(9月20日 第3回定例議会最終日、議場にて)

●最終定例議会を終えて

小美玉市議会議長 野村武勝

市民の皆さまにおかれましては、ご健勝にてご活躍のことと推察いたします。私達21名の議員が平成19年12月より4年間、市議会議員として市政に携わって参りましたが、本年11月末を持ちまして任期満了となり退任いたします。ここに、これまでのご支援に改めて感謝申し上げます。

任期中は、地方の自立性を高めるとうたった「三位一体の改革」、いわゆる「平成の大合併」の特例法が施行され、我が茨城県も83あった市町村が現在の44までとなりました。

国においては、広域自治体に再編する道州制導入も視野に、更なる合併が必要との認識も示しております。市町間には自立した自治体運営の維持を求める声も多く、色々な選択の構築が今後の課題となるように思えます。こういう時期だからこそ市民の皆さまとの協働、参画によるまちづくりが重要に思えます。

今、本市では本年3月に第2次小美玉市行財政改革大綱及び実施計画を策定し、なお一層の効率化を目指して、行財政改革に取り組んでおります。そして、現在、茨城空港を生かしたまちづくりを始めさまざまな事業を計画しております。

また、本市の基幹産業である農業も福島第一原子力発電所放射能漏えい事故による風評被害で厳しい環境にあります。今後、市が進むべき方向を迷わず信念を持って計画し、市民が夢や希望の持てるまちづくりを目指してほしいと思います。

素晴らしい同僚議員と共に4年間を全力で市政に尽くせたことに対し改めてお礼を申し上げ、ご教授とご支援をいただきました市民の皆さまに対し衷心より感謝を申し上げます。結びに市民の皆さまのご健勝ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

決算?・・・年度内(4月から翌年の3月末)の収入と支出の状況を明らかにすることで、住民に対する財政上の責任を明確にするとともに将来の財政運営に役立てるもの。

平成 22 年度 全 11 会計 決算を認定！

会計別		歳入	歳出	内容	
一般会計		218 億 7,033	208 億 5,245	歳入@ 40 万 4 千円 (前年比 31,852 円・8.5%↑) 歳出@ 38 万 5 千円 (前年比 28,285 円・7.9%↑)	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	58 億 6,202	56 億 1,417	加入世帯 8,974、被保険者 17,952、保険税@ 87,495 円 医療費@ 249,142 円、特定検診受診率 34.5%
		(白河診療所)	1 億 9,705	1 億 7,740	診療件数 9,973 件 (前年比 229 件↓)
	老人保健	417	417	後期高齢者医療制度に移行につき、平成 22 年度で残務処理終了	
	後期高齢者医療保険	3 億 4,121	3 億 4,121	保険料@ 38,175 円、医療費@ 709,951 円	
	介護保険	(事業)	27 億 3,484	26 億 8,322	月平均被保険者 946、月平均要介護認定者 123 (認定率 13.0%) 保険料@ 41,772 円、給付費@ 206 万 6 千円
		(サービス)	475	291	高齢化率 21.7% (前年比 0.4%↑)
	下水道	15 億 3,007	14 億 8,525	処理区域 955.3ha、普及率 35.8% (前年比 8.5%↑)	
	農業集落排水	4 億 8,824	4 億 3,229	処理区域 317ha、普及率 6.5% (前年比 0.0%)	
戸別浄化槽	6,348	5,647	27 基を設置 (5 人槽 23 基、7 人槽 3 基、10 人槽 1 基)		
霊園	1,592	1,563	41 区画の新規利用申込		
企業会計	病院	収益的収支	3 億 1,007	2 億 6,564	外来患者数 47,422 (前年比 4,251 ↓) 入院患者数 13,202 (前年比 977 ↓)
		資本的収支	—	4,685	病床利用率 45.2% (前年比 6.8%↓)
	水道	収益的収支	7 億 9,073	6 億 2,777	給水件数 14,115 件、給水人口 42,027 人 (普及率 93.8%) 総配水量 456 万 m ³ (前年比 35,996 m ³ ↓)、有収率 83.1%
		資本的収支	10 億 8,388	13 億 3,709	1 日平均配水量 12,508 m ³ 、施設利用率 74.9%

* @マークは市民 1 人当たりの額を表しています。

(単位：万円)

市財政の健全度チェック！ 市が抱える借金・将来負担は？

実質公債費比率 11.5%

将来負担比率 118.6%

「今、返済している借金は？」

「将来負担していく借金は？」

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H 2 2	11.5%	27 位	11.1%	25% (18%)*
H 2 1	13.5%	16 位	12.0%	
H 2 0	15.1%	13 位	12.8%	

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H 2 2	118.6%	6 位	73.7%	350%
H 2 1	122.5%	9 位	86.6%	
H 2 0	124.9%	17 位	95.7%	

※ 順位・平均は、県内 44 市町村との比較および県内の平均。順位は上位ほど悪く下位ほど良い

※ 順位・平均は、県内 44 市町村との比較および県内の平均。順位は上位ほど悪く下位ほど良い

◇市財政の何を診断？

1 年間に自由に使える収入のうち、どれくらい借金の返済に充てたのかを見る比率です。この過去 3 年 (平成 20 ~ 22 年度) の平均値になります。この数値が高いということは、国や県等に頼らず、市独自で事業等を実施するための自由な財源が少ないことを意味します。

* 18% に達した場合にも、新たな借金をする際に許可を要するなど一部制限となる。

◇市財政の何を診断？

1 年間に自由に使える収入に対して、市の負担となる借金などが、その何倍に及んでいるのかを見る比率です。借金が将来にわたり財政に与えていく影響の大きさが分かります。

これを家計に例えると、借金 (連帯保証人として潜在的な債務も含む) が、年収の何年分に相当しているのかといった感じになります。

自治体財政健全化法? . . . 自治体の全会計から出資する団体の負債までを監視の対象に、自治体財政の悪化を早期に見つけることを目的に平成 19 年 6 月に制定された。

新温泉施設「小美玉市小美玉温泉ことぶき条例」を制定

老人いこいの家小川温泉寿荘の老朽化に伴い、隣接地へ新温泉施設の建て替え工事を進めていた新温泉施設の名称が「小美玉温泉ことぶき」に決定し、今年度中にオープンします。今議会に提案された「小美玉市小美玉温泉ことぶき条例」を制定することにより、施設の効率的な運営が期待されます。

(議案 6 1 号関連)



地元市民から施設完成が待ち望まれている「小美玉温泉ことぶき」。新施設では、お風呂の利用が午前 10 時から午後 8 時まで可能となる

【利用料金】風呂、大広間

区分	市内	市外
70 歳以上	無料	1,000 円
中学生から	300 円	
小学生まで	無料	

*ただし、市外の 3 歳以下は無料。

【利用料金】グラウンドゴルフ場

区分	市内	市外
70 歳以上	無料	400 円
上記以外	200 円	

「小美玉市暴力団排除条例」を制定

市は、全国の厳しい暴力団情勢を受けて、市、市民、警察などの関係機関が一丸となって、小美玉市から暴力団を排除するため、「小美玉市暴力団排除条例」を制定しました。これは、暴力団排除に関する基本理念を定めることにより、市と市民等の役割を明らかにし、安全で平穏な生活の確保と社会経済の健全な発展を目的とするものです。

(議案 8 6 号関連)

《条例の基本理念》 ◆暴力団を恐れない ◆暴力団に資金を提供しない ◆暴力団を利用しない

「東日本大震災及び福島第一原子力発電所放射能漏えい事故による農畜産物の風評被害に関する決議」を全会一致で可決

9 月 20 日、東日本大震災に起因するさまざまな影響を懸念し、市議会では次のような決議を全会一致で可決しました。

去る 3 月 11 日に発生した未曾有の大震災「東日本大震災」は、東日本の広い範囲に多大なる被害をもたらした。本市においても、地震により家屋や道路、上下水道等の破損、停電などにより市民生活に大きな影響を与えた。さらに、半年が過ぎたが、福島第一原子力発電所の原子炉の重大事故は全く収束の見通しが立たず、その影響により私たちの安全、安心な生活が脅かされている。

このような中、事故で飛散した放射性物質により、本市で生産されている米をはじめ、ハウレンソウやニラ、チンゲンサイ、イチゴ、キュウリ、レンコンなどの野菜類や原乳等についても小売業者や消費者に敬遠され、市場での出荷調整や価格の大幅な下落といった風評被害に陥り、生産農家は甚大な損失を被っている。

そのため、このような状況を一刻でも早く解消するため、小美玉市議会として本市における東日本大震災及び福島第一原子力発電所放射能漏えい事故による被害の大きさとその特徴を踏まえ、早期に風評被害等を受けた関係者に対する補償制度を東京電力や国に強く求め、本市における農畜産物のきめ細かな放射線量計測を継続的に行い、安全性を積極的にアピールし、沈静化に努めることを強く要望する。

以上、決議する。

平成 23 年 9 月 20 日

小美玉市議会

9月 定例議会 審議結果 (全 37 件)

審議結果の表記・見方?・・・「審査委員会」総…総務、文…文教福祉、市…市民経済、建…建設、各…各所管委員会「賛否」○…全会一致で可決(また同意)、○…賛成多数で可決

No	議案等の名称 ～主な内容～	結果	委員会審査
----	---------------	----	-------

■ 条例の制定・改正 (7 件)

59	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例 (制定) ～公職選挙法の規定に基づき、候補者の選挙費用の一部を公費で負担するもの～	◎	総 ◎
60	市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例 (制定) ～公職選挙法の規定に基づき、候補者の選挙費用の一部を公費で負担するもの～	◎	総 ◎
61	小美玉温泉ことぶき条例 (制定) ～新温泉施設「小美玉温泉ことぶき」の効率的な運営を図るもの～	○	文 ◎
62	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例 (一部改正) ～「農業再生協議会」設置に伴うもの～	◎	市 ◎
63	土地の埋立て等の規制に関する条例 (一部改正) ～法令等の規定によるもの～	◎	市 ◎
64	市災害弔慰金の支給等に関する条例 (一部改正) ～法の改正により、支給対象となる遺族範囲の変更に伴う関係規定の改正～	◎	文 ◎
86	市暴力団排除条例 (制定) ～暴力団排除を推進し、市民の安全で平穏な生活を確保するため～	◎	— —

■ 平成 23 年度 補正予算 (9 件)

65	一般会計 補正額 6 億 1,993 万円	◎	各 ◎
66	国民健康保険 (事業勘定及び直診勘定) 補正額 1 億 4,720 万円	◎	文 ◎
67	後期高齢者医療保険 補正額 △ 151 万円	◎	文 ◎
68	下水道事業 補正額 △ 85 万円	◎	建 ◎
69	農業集落排水事業 補正額 716 万円	◎	建 ◎
70	戸別浄化槽事業 補正額 △ 163 万円	◎	建 ◎
71	霊園事業 補正額 28 万円	◎	市 ◎
72	介護保険 (事業勘定、サービス勘定) 事業勘定) 補正額 3,690 万円 サービス勘定) 補正額 3 万円	◎	文 ◎
73	水道事業 収益収支) 補正額 △ 1,151 万円 資本収支) 補正額 4,940 万円	◎	建 ◎

No	議案等の名称 ～主な内容～	結果	委員会審査
----	---------------	----	-------

■ 平成 22 年度 決算 (11 件)

74	一般会計	○	各 ◎
75	国民健康保険 (事業勘定、直診勘定)	○	文 ◎
76	老人保健	◎	文 ◎
77	後期高齢者医療保険	○	文 ◎
78	下水道事業	◎	建 ◎
89	農業集落排水事業	◎	建 ◎
80	戸別浄化槽事業	◎	建 ◎
81	霊園事業	◎	市 ◎
82	介護保険 (事業勘定、サービス勘定)	◎	文 ◎
83	病院事業	○	文 ◎
84	水道事業	◎	建 ◎

■ その他 (4 件)

85	市道路線の認定 ～市道小 30623 号線、市道小 10916 号線～	◎	— —
1	人権擁護委員の推薦 (追加) ～任期満了に伴い、伊藤 伸吾 氏を再推薦～	◎	— —
2	人権擁護委員の推薦 (追加) ～任期満了に伴い、細山 美好 氏を再推薦～	◎	— —
3	人権擁護委員の推薦 (追加) ～任期満了に伴い、木村 利夫 氏を推薦～	◎	— —

■ 請願 (3 件)

3	「早期の学校耐震化及び教育復興」を求める請願 紹介議員：市村文男	◎	文 ◎
4	「教育予算の拡充」を求める請願 紹介議員：市村文男	◎	文 ◎
5	小美玉市スポーツシューレ公園整備事業中止に関する請願 (継続審査案件) 紹介議員：村田春男	継	文 —

■ 議員発議 (3 件)

2	市議会委員会条例の一部を改正する条例 提出者：市村文男ほか 9 名	◎	— —
3	東日本大震災及び福島第一原子力発電所放射能漏えい事故による農畜産物の風評被害に関する決議書 提出者：市村文男ほか 6 名	◎	— —
4	国の責任において飛灰の最終処分場の確保を求める意見書 提出者：荒川一秀ほか 6 名	◎	— —

▼現議会—4年間の主な経過・議決事項

2007 (H19)

- 11月18日 合併後、初の市議会議員選挙
(議員 50名→24名)
- 12月臨時 初議会 議会構成が決まる
- 12月定例 自治基本条例を制定



小川地区の小川、橘、野田、吉影の4つの幼稚園を統合し、「元気っ子幼稚園」として開園(21年4月)

2008 (H20)

- 3月定例 第1次総合計画基本構想(H20～29)
国保中央病院に指定管理者制度を導入
後期高齢者医療保険特別会計、戸別浄化槽事業特別会計設置
- 6月定例 小川・美野里地区の水道料金を統一
- 8月臨時 小川統合幼稚園建設工事へ
- 9月定例 財政健全化法下での初の決算
- 12月定例 霞ヶ浦西浦の境界決定へ
スポーツ施設整備基本構想案 提示



小川・美野里地区の小中学校の給食約5,000食分を供給する小美玉給食センターが完成(22年9月運用開始)

2009 (H21)

- 3月定例 合併特例債事業が本格化(H21予算)
議会モニター中継を開始
- 9月定例 市議会議員の政治倫理条例を制定
美野里地区の不燃ごみ手数料を無料化
BRT事業化へ 鹿島鉄道跡地を市道に認定
市消費者相談センター開設へ
- 9月臨時 小美玉学校給食センター建設工事へ
- 12月定例 常任委員会委員 改選

2010 (H22)

- 3月定例 茨城空港開港(3月11日)
全議員による予算特別委員会を設置し、当初予算を審査
上下水道料お客様サービスセンター開設
3地区消防団 統合
- 6月定例 子ども手当を支給開始
- 8月臨時 堅倉小学校改築工事へ
- 9月定例 議員定数等検討特別委員会を設置



茨城空港が開港(22年3月11日)

2011 (H23)

- 1月臨時 小川温泉寿荘、本館等の建設工事へ
3保健センター、管理運営指定管理者制度の導入へ
- 3月定例 3月11日、東日本大震災
福島第一原子力発電所放射能漏えい事故発生
非核平和都市宣言
(仮称)「空の駅」整備構想策定
- 4月臨時 市単独の住宅災害見舞金、支給へ
- 6月定例 議員定数削減(24名→22名)



未曾有の東日本大震災により
市内随所で大きな被害
(23年3月11日)

小美玉スポーツシューレ公園事業

～ これまでの議会審議の経過 ～

審議結果の表記・見方？・・・「結果」◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 継…継続審査

【平成 20 年】

スポーツシューレ公園整備事業関連議案	審議の経緯と結果	結果
H20 一般会計予算 スポーツ施設整備計画策定予算 350 万円	○総務委員会で審査…全会一致で可決すべき ○本会議…討論なし (H20.3.14)	◎
H20 一般会計補正予算 スポーツ・レクリエーション施設測量調査委託料 1,300 万円	○総務委員会で審査…全会一致で可決すべき ○本会議…討論なし (H20.12.17)	○

【平成 21 年】

H21 一般会計予算 スポーツ・レクリエーション施設整備基本設計委託料 7,500 万円	○総務委員会で審査…全会一致で可決すべき ○本会議…反対討論 (福島議員) (H21.3.25)	○
サッカー場建設に関する請願書 (内容：サッカー場建設を推進してほしい) 紹介議員：磯辺議員、関口議員、加藤議員	○総務委員会で審査…全会一致で可決すべき ○本会議…反対討論 (橋本議員) 賛成討論 (荒川議員) (H21.3.25)	◎
H21 一般会計補正予算 一般市道測量調査委託料 1,300 万円	○総務委員会で審査…全会一致で可決すべき ○本会議…討論なし (H21.9.18)	○

【平成 22 年】

H22 一般会計予算 (仮称)小美玉スポーツシューレ公園設計調査委託料 7,000 万円 一般市道設計調査委託料 1 億 1,600 万円 用地買収費 (市道) 2,100 万円 電柱・立木等移転補償費 (市道) 1,000 万円 合計 2 億 1,700 万円	○予算特別委員会で審査 …全会一致で可決すべき ○本会議…討論なし (H22.3.19)	◎
H22 一般会計補正予算 消耗品費 26 万円 (仮称)小美玉スポーツシューレ公園設計調査委託料 △1,000 万円 一般市道設計調査委託料 △2,900 万円 (仮称)小美玉スポーツシューレ公園整備工事 5 億 400 万円 用地買収費 (市道を含む) 1 億 7,800 万円 電柱・立木等移転補償費 3,600 万円 合併特例推進事業 合計 6 億 7,926 万円	○文教福祉委員会で審査 …全会一致で可決すべき ○本会議…修正案提出あり (6 億 7,926 万円を 0 円に) 村田議員・古谷議員・橋本議員・関口議員・加藤議員 修正案 / 賛成少数で否決 原案 / 賛成多数で可決 (H22.12.10)	○

【平成 22 年】

H22 一般会計補正予算 繰越明許費 6 億 9,926 万円	○文教福祉委員会で審査 …全会一致で可決すべき ○本会議…修正案提出あり (6 億 9,926 万円の繰越明許費を 0 円に) 橋本議員・村田議員・古谷議員・関口議員・加藤議員 修正案 / 賛成少数で否決 原案 / 賛成多数で可決 (H23.3.18)	○
H23 一般会計予算 用地補償等調査委託料 (市道) 200 万円 道路改良舗装工事 2 億 500 万円 用地買収費 (市道) 1,100 万円 電柱・立木等移転補償費 (市道) 800 万円 水道管移設補償費 (市道) 3,400 万円 合併特例推進事業 合計 2 億 6,000 万円	○予算特別委員会で審査 …反対討論 (福島議員) 賛成多数で可決すべき ○本会議…反対討論 (福島議員) 賛成多数で可決 (H23.3.18)	○
小美玉スポーツシューレ公園整備事業中止を求める請願書 紹介議員：村田議員	○文教福祉委員会で審査…継続審査 ○本会議…文教福祉委員長に対する質疑あり (村田議員、関口議員) (H23.9.20)	継
文教福祉常任委員会 公聴会 (第 1 回：10 月 21 日 (金)、第 2 回：10 月 28 日 (金))		

委員会 審査 Q & A

各委員会で付託された 29 議案を審査

本会議で付託された 29 件の議案について、9 日から 16 日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。各常任委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

総務

(委員) 口川 宅田 村島
関 小大村 中福

合併特例債で防災倉庫を建設

Q 合併特例債の防災倉庫整備事業債で新たに設置される防災倉庫の建設場所は？

A すでに小川・玉里地区にはそれぞれ防災備蓄倉庫があり、美野里地区に予定しています。

消防の災害対策(備え)について

Q 災害対策として台風による急な増水等に対処するため、消防署では普段から土嚢(どのおう)の保管をしているのか？

A 今回の台風(12号)では、接近する前日に約1,000袋の土嚢を準備し、市内で危険が想定される箇所には土嚢を積む等の対処をしました。土嚢は各消防署等にあり、それぞれを併せると相当数保管してあります。

公共施設の借地について

Q 消防庁舎など借地料を支払っている公共施設の今後の措置は？

A 契約更新時等には交渉を行い、買収の努力をしていきます。

選挙公報の配布方法について

Q 選挙公報の配布方法を新聞折込とする訳は？

A 配布については、今まで区長にお願いしてきましたが、区に加入する世帯の減少により配布率が低下し、全世帯に届くまでに日数がかかること等から、新聞折込にしたいと考えています。これにより委託料、配布にかかる日数も少なくなり、約94%の世帯に配布されることを想定しています。また、新聞をとっていない世帯については、市内の各公共施設26カ所に公報を配置することで対応したいと考えています。

○ 若い世帯で、新聞もとらない、行政区にも加入していない世帯が出てくると思われるので、全世帯に行き渡るかどうか検証をお願いしたい。

文教福祉

(委員) 口本 瀬井 本
山岩 名 藤山

「小美玉温泉ことぶき」今年度新設オープン!

Q 「小美玉温泉ことぶき」が新しく建設されているが、完成予定は？

A 現在建設している本館施設は、11月末頃に完成する予定です。その後、来年1月末までの間に、既存の施設を取り壊し、その場所にグラウンドゴルフ場の整備と、外構工事、進入路の拡幅工事が行なわれる予定です。すべて整備した後、なるべく早い時期に新施設をオープンしたいと考えています。

Q 新しく温泉を掘削したようだが、泉質は以前と比べてどうか？

A 泉質は、ナトリウム―炭酸水素塩、塩化物冷鉱泉です。この温泉の中に含まれている成分の数値が、以前よりも高い結果が出ていますので、よりよい泉質になったと考えられます。

○ 泉質が良くなったことや効能などをPRしながら、市内外への周知を十分にし、たくさんの人に来てもらえるよう努力していただきたい。

学校給食の残菜について

Q 小美玉学校給食センターが稼働して約1年が経過しました。子どもたちからは、味が薄いため、野菜などの残菜が多く出ていると聞きます。現状と対策は？

A 現在の給食残菜率は、ここ1年の平均で約10%です。給食は、子どもたちの健康（成人病予防など）を配慮したうえで、学校給食摂取基準に基づいた分量での味付けとなっています。給食を提供するうえで最も大事なことは、子どもの健康保持増進を図ること及び、望ましい食習慣を養うことです。栄養教諭や給食主任教諭等と連携をとり、食育推進のよりよい方策を模索しながら、児童生徒・保護者・教職員に、食育について共通認識を持たせられるよう対策を講じていきたいと思えます。

身障者専用駐車場利用証制度を導入

Q 県で10月1日から実施する身障者専用駐車場利用証制度の内容は？

A これまで、内部疾患を持つ身障者は、外見は健常者に見えるのでホームセンターや大型スーパーなど

に設置されている身障者用駐車場が利用しづらいという問題がありました。そこで、県では、身障者で希望する方に利用証を交付し、それを車の外からでも見える位置に提示することで身障者用駐車場を本来に必要なとして利用の方が利用しやすい環境を整える制度を実施します。全国19府県において既に実施されており、関東地方では、群馬県・埼玉県・栃木県などで実施済みです。

○ **利用証を提示することで、不適正な利用が抑制できると思えますが、身障者用駐車場をもっと増やすことも必要であると考えます。**



「いばらき身障者専用駐車場利用証（写真中：フロント中央）」を提示することにより、車いすマークの駐車場の適正利用の推進及び県民への意識啓発並びに障害などのある方の社会参加を支援

市長選

（委員）原藤 村田
萩加 野戸

防災行政無線の整備

Q 防災行政無線の整備状況は？

A 今年度、同報系と呼ばれる親局と移動系と呼ばれる車載型の無線機を避難所に設置する整備に着手し、24年度からは戸別受信機を市内全域の各世帯を対象に順次整備し、26年度の完了を目指しています。また、今回の震災を教訓に、停電時でも重要な災害情報を迅速に提供できるように送信システムの2系統化や各機器の予備電力の配備など、災害に強い防災無線を整備していきます。

茨城空港を生かしたまちづくり

Q 「空の駅」の進捗状況は？

A 茨城空港の開港を契機に、空港周辺を「人、もの、情報」の交流拠点と位置づけ、交流人口の増大と地域経済の活性化を図る施設として（仮称）小美玉市「空の駅」の整備を推進するため、推進委員会を6月1日に設置し、委員会を3回開催しました。

また、推進委員会に専門的事項について検討するための専門部会（建設検討部会）を7月1日に設置し、「空の駅」の基本設計を作成するために基本となる計画づくりの会議を4回開催しており、直売施設、レストラン施設、情報発信施設、加工施設等について各分野からたくさんのご意見が出され、検討を重ねています。

7月6日に基本設計プロポーザル審査委員会を開催し、株式会社佐藤総合計画の提案を最適と特定し採用。基本設計業務の契約を7月25日に締結しました。

「空の駅」の敷地につきましては、約25,500㎡の面積を確保する予定で現在、土地の鑑定業務を行っています。

「小美玉市元気再生プレミアム商品券」発売中！

Q プレミアム商品券の販売状況は？

A プレミアム商品券は、8月7日、市内3箇所において特別販売を行い、その後は商工会の本所、または小川支所にて販売しているところです。売り上げは、9月14日現在で約3,000万円です。一日では平均60万円前後の売り上げで推移して

いばらき身障者専用駐車場利用証?・・・身障者専用駐車場を本当に必要としている方が利用しやすい環境を整備するため、障害者、高齢者、難病患者、妊産婦の方などに対して、当該駐車場の利用証を発行する制度。

上下水道料金お客様サービスセンター?・・・市水道局の1階に設置され、上下水道料金の徴収及び給水管の申請等の窓口業務を行うところ。

います。

また、休日における特別販売を実施しながら、口コミによる啓発、または特に年末商品を目途に、商工会と連携して販売を拡大するよう進めているところです。



大震災の影響で風評被害や買い控えが広がる中、市内の店舗の活性化を目指し、1万セット用意されたお得な商品券。市商工会で販売中!

農作物のイノシシ被害について

Q 農作物のイノシシ被害の経過は?

A 9月までに農政課に寄せられたイノシシによる農作物の被害は、3件です。1件は下田地区、2件は三箇地区でジャガイモやサトイモや水田が被害に遭っています。

Q その対策は?

A 今後も被害がでる可能性がありますので、農政課と協議のうえ、その対策を検討したいと考えています。

建設

(委員) 目谷川 村 村
和 大市田
笹古荒 大市田

幹線道路の進捗状況

Q 田木谷上玉里線と(仮称)栗又四ヶ線の進捗状況は?

A 田木谷上玉里線については、平成23年度中の用地買収を目標にしており、平成24年度には、埋蔵文化財の発掘調査を行う予定で事業を進めています。(仮称)栗又四ヶ線については、未だ一部区間に用地のご理解が得られていない方がありますので、協力が得られるよう今後も用地交渉を重ね、早期に工事着手できるように事業を進めていきます。

下水道事業全般について

Q 公共下水道の接続率は?

A 公共下水道の接続率は70・5%です。

Q 接続率が低いですが、未加入者に対する指導は?

A 未加入者には、文書等で徹底した指導をしていきたいと考えています。

Q 農業集落排水事業の供用開始した箇所は?

A 小川地区の巴南部、美野里地区の納場北部、堅倉南部の3カ所です。

Q 接続率は?

A 23年4月1日現在の接続率は、巴南部が56・5%、納場北部が88・8%、堅倉南部が59・6%、全体で64・9%です。

Q 今後の事業計画は?

A 24年度は、巴中部の上吉影地区が実施設計に入り、25年度からは上吉影地区の管の埋設工事等に入る予定です。

Q 戸別浄化槽事業で、これまでに設置した数は?

A 20年が28基、21年が30基、22年が27基、合計85基です。

水道水の安定供給を

Q 石綿管布設替工事の進捗状況は?

A 平成22年度末現在、残延長58,572mで、進捗率は約59%です。

Q お客様センターの状況は?

A センターは8名で運営しています。人件費を考えるとまだマイナス

の部分の方が多い状況ですが、過年度分の収納率がかなり上がっていますので、契約3年間の残り1年半に実績を出していただけるようお願いしています。

Q 震災時、美野里地区の水道は出なかったが、今後の災害時の対応は?

A 非常時用の自家発電機を美野里浄水場に2機、小川浄水場に2機、合計4機を用意する予定です。

Q その数で足りるのか?

A 断水にならない程度に給水できると考えています。

市道認定について

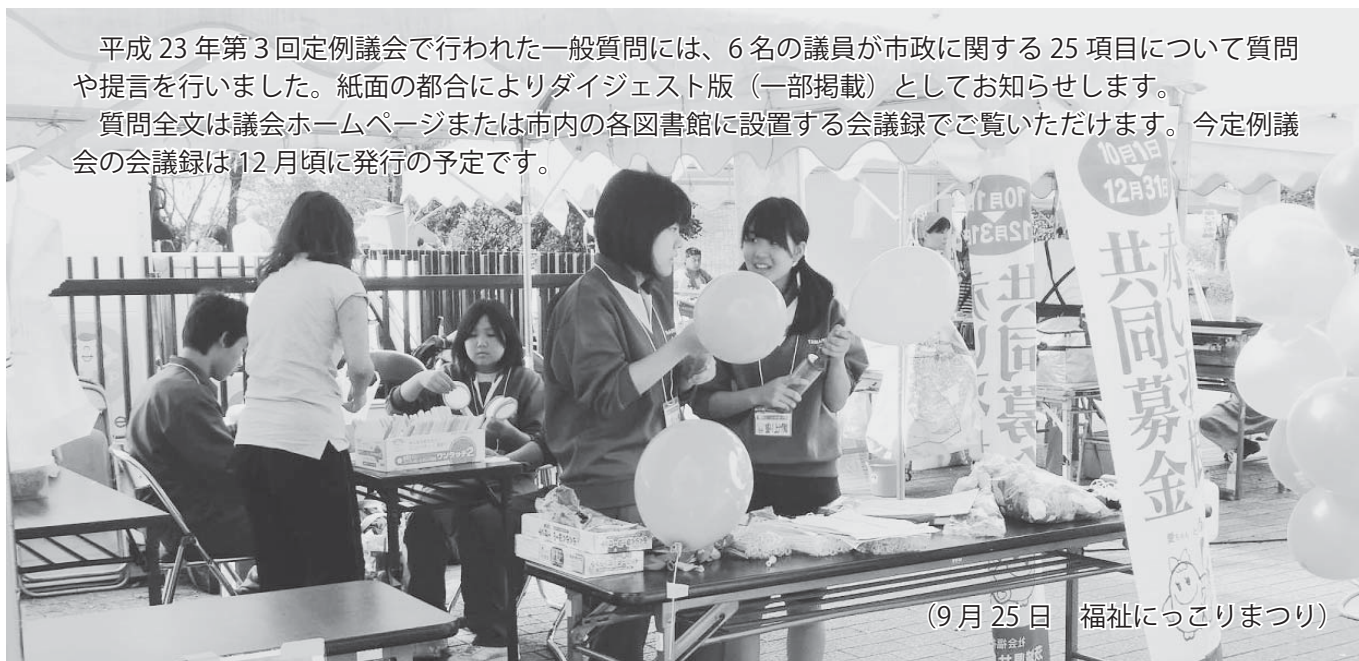
Q 市道路線の認定箇所である下吉影地区の道路は大きな落差があり、事故が心配されるのでは?

A 日陰部分は路面凍結による危険性のある道路ですので、大きなカーブをとり勾配を緩やかにすることや滑り止め舗装を行うなど、安全が確保されるよう施工していきます。

市民の声を市政に 一般質問

住みやすいまち目指して

平成 23 年第 3 回定例議会で行われた一般質問には、6 名の議員が市政に関する 25 項目について質問や提言を行いました。紙面の都合によりダイジェスト版（一部掲載）としてお知らせします。質問全文は議会ホームページまたは市内の各図書館に設置する会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は 12 月頃に発行の予定です。



(9月25日 福祉にっこりまつり)

1. 山本 信子 (12 ページ)

- ① 放射線の与える影響
(答弁：市長公室長)
- ② 学童保育、放課後子ども教室
(答弁：教育次長)

2. 山口 良元 (13 ページ)

- ① 不納欠損処分
(答弁：総務部長)
- ② 市政運営
(答弁：市長公室長)
- ③ 霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備計画
(答弁：都市建設部長)
- ④ 広域幹線道路
(答弁：都市建設部長)

3. 福島ヤヨヒ (14 ページ)

- ① 放射能汚染対策
(答弁：教育長、産業経済部長)
- ② 耐震化 (答弁：教育長)
- ③ 震災見舞金制度
(答弁：保健福祉部長)
- ④ 防災訓練 (答弁：市民生活部長)
- ⑤ スポーツシューレ公園整備事業
(答弁：市長)
- ⑥ 市税等の収納
(答弁：総務部長)
- ⑦ 国保税引き下げを
(答弁：保健福祉部長)

⑧ 子どもの医療費無料化

(答弁：保健福祉部長)

⑨ 茨城空港公園設置の戦闘機撤去を

(答弁：産業経済部長)

⑩ 原発ゼロ発信を

(答弁：市長)

4. 荒川 一秀 (15 ページ)

- ① 災害復旧の進捗状況
(答弁：副市長)
- ② 防災及び非常用電源
(答弁：市民生活部長)

5. 小川 賢治 (16 ページ)

- ① 米の放射性物質検査
(答弁：産業経済部長)
- ② 石岡地方斎場移転計画
(答弁：市長)
- ③ 小美玉市地域福祉計画
(答弁：保健福祉部長)

6. 戸田 見成 (17 ページ)

- ① サッカー場 (スポーツシューレ) 建設一時凍結・見直し
(答弁：市長)
- ② 宮田地区の市有地 (寄附地)
(答弁：市長)
- ③ 企業誘致・産業振興
(答弁：産業経済部長)
- ④ 社会的弱者のための交通確保
(答弁：市長公室長)

一般質問? . . . 市民の代表である議員が、市政全般について質問や提言を行うこと。質問は通告書の提出順で行われます。質問時間は60分以内・再質問までとなっています。



山本 信子

Q . 未だ不安の消えない放射能の影響 最悪の事態を想定し、マニュアルを

A . 定期的な検査実施と公表を継続 健康影響に関する講演会等も開催

Q 放射線が人体に与える 影響とその対策は

本市の放射線の空間線量測定の結果が発表されているが、お米や人体への影響、特に影響を強く受けるとされる子どもたちが心配である。人体への影響は土壌や食物から大きく受けるわけで、最悪の場合を予測した対策はできているのか。また、放射能に関する市民相談窓口の充実は?

A 市長公室長

県内の農畜産物については、8月31日現在までに132品目、1,158検体の検査を実施し、安全が確認されています。また、本市のお米に関しても、8月29日にセシウム134、137の濃度測定検査を市内6カ所で実施し、検出せずと公表されたところです。

人体に与える影響ですが、定期的に小・中学校及び保育所など37カ所で測定を行ったところ、毎時0.1から0.3マイクロシーベルト未満の数値を推移しており、健康に影響を与えるレベルではないと考えています。このような中、しばらく0.3マイクロシーベルトを超え

ていた羽鳥保育所については、園庭表土の除去をしたところ、数値が下がっています。

今後も定期的な放射線測定に関する情報の公表を継続していくとともに、放射線に対する正しい認識を持つていただくための講演会を開催する等の啓発活動を行っていきます。また、市民相談窓口の充実については、災害復旧対策の基本計画に沿って充実を図っていきます。

Q 保護者の要望に応じ 保育時間の延長を

放課後子ども教室等を利用しての保護者の働く場所が、市内に限らず広範囲化している。道路事情もあり、午後6時までに迎えに駆けつけるのは大変だという話をよく聞くので、30分でも、1時間でも保育時間の延長を検討いただきたい。

A 教育次長

市内の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室（放課後子どもプラン事業）は、公設のものが全小学校区12カ所、民設のものが5カ所あり、利用児童数は

本年7月現在で、平常時で公設が391名、民設が268名となっています。

開設時間帯については、公設の終了時刻が午後6時、民設が午後7時から8時ごろまで開設しているところもあります。近隣の市町村の状況を見ましても午後7時まで開設するケースも見られる状況ですので、今後の動向を見据え、子どもの安全を求める保護者のニーズを把握しつつ、民間児童クラブとの連携・協力なども視野に入れながら、よりよい運営を目指していきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。



放課後等における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として運営されている放課後児童クラブ、放課後子ども教室。近年、家庭事情や子どもの安心への考え方などから利用者が増加している

不納欠損処分?・・・歳入徴収額を調定したものの何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため、その徴収を諦めること。22年度の一般会計だけで7,516万9千円の欠損処分が行われた。

Q. 積極的な行財政改革を推進し 市民が夢の持てる市政運営を

A. 中長期の財政計画を見直し 節度ある行財政運営に努める



山口 良元

Q 不納欠損処分の適切な対応と 効果的な収納対策を

市では収納対策課を新設して種々対策を講じ、収納率向上に努めてるが、毎年多額の税金が不納欠損処分されている。市税の確保は財政の根幹をなすものであり、税の公平負担の原則からも、なお一層の効果的な収納対策を望む。

A 総務部長 市では、預貯金や動産、不動産などの財産があつて一定額以上の収入があるときは欠損処分とせず、徹底した実態調査を行い、不動産、預貯金、生命保険、供託金等の差し押さえ及び換価処分を行っています。平成22年度に行った差し押さえは、不動産74件で滞納額5,188万円相当、預金234件で換価額1,315万円、給与11件で納付額142万円、生命保険23件、国税還付金11件、その他債権9件、車の登録7件、タイヤロック1件、捜索1件、某業者の動産等です。また、新たな収納対策として、今年度、不動産のインターネット公売を2件実施しました。さらに、納期内納付を図るため、金融機関等のキャッシュカードにより口座振替の申込みがその場でできるペイジーの導入を、本年12月から活用できるように調整しています。

しかし、滞納者の中には生活保護受給者になつてしまつたり、財産がなく住宅や職を転々としていたり、外国人の場合には外国に帰つてしまつたり、また居住地や収入が調査しても分からない場合等があり、徴収ができないため税法に基づく欠損処分を行っています。

Q 今後の市政運営をどう進めるのか

本市は、茨城空港を生かしたまちづくりを進める空の駅整備、水の交流エリア、スポーツシユール、広域道路の玉里栗又四ヶ線、田木谷上玉里線など数多くの事業を計画しているが、市民が夢の持てる政策を展開するにあたり、今後の市政運営をどのように進めるのか伺いたい。

A 市長公室長 本年3月に、第2次小美玉市行財政改革大綱及び実施計画を策定し、一層の効率化を目指し、全庁を上げて行財政改革に取り組んでいます。財政面では5年後の平成28年度から地方交付税が一本算定となり、今年度の地方交付税と比較すると10億円の減額となります。緩和措置により市町村の不利益は緩和されますが、平成33年度には完全な1本化となり、自主財源の確保に努めなければなりません。

対策としては、平成21年度から行っている一般財源の枠配分予算方式を今後も取り入れ、個々の施策と市民ニーズを熟知した事業担当部長が事業選択を適切に行い、平成22年度末、17億2,100万円ある財政調整基金を25億円まで積み立てることを計画しています。

今後の市政運営においては、将来の経済・財政環境の変化を見据え、中長期の財政計画を見直し、これを基に市総合計画の実施計画の改定を進めるなど計画的なまちづくりに努める必要があります。また併せて、事務経費の徹底した削減・合理化を図り、緊急性を考慮した財源の重点配分に努めながら、節度ある行財政運営の基本に立ち返り、この難局を乗り切つていきたいと考えています。

「集中改革プラン」と「市税」の実績

項目	プラン実施による 主な削減効果	市税収入額
H22	3億 1,895万	62億 3,584万
H21	2億 7,890万	62億 3,413万
H20	2億 4,080万	64億 5,080万
H19	1,460万	64億 8,114万
H18	3億 3,713万	59億 480万
合計	11億 9,038万	313億 761万

*集中改革プランは、市の行財政改革大綱(平成18～22年度)に基づき、具体的な実施項目や行程を定めたもの。
*市税は国民健康保険税を除く。



福島ヤヨヒ

Q . 放射能汚染に対する教育現場や給食食材の対策は

A . 国の新基準を判断の目安に 予防策を講じ、安全確保に努める

Q 放射能汚染対策について

放射能に対する不安を取り除くため対策をとるのが行政の役割ではないのか。教育現場や給食食材についてはどのような対策がとられているのかお伺いしたい。

A 教育長 教育現場での対策として

市立の幼・小・中学校、給食センターと私立幼稚園を含め26施設で、5月から2週間に1回、放射線量の測定を行っています。それぞれの測定値の推移を見ていくという観点から、新たに測定器を増やし各学校に配付するのではなく、特定の者が定期的に回るといった方法をとっています。小・中学校プール使用については、放射性ヨウ素131、セシウム134、136、137の4項目について、使用期間に応じて1〜3回の検査を行い、いずれも検出されず使用できました。さらに、子どもたちの学校生活上の対策及び指導も予防策を講じ、安全確保に努めています。

また、給食食材に関しては、8月末に採取した検体から放射性物質は検出されず引き続き、小美玉市産の米を使用していきます。今

後もより厳しくなった新基準を判断の目安として適切な対応を図っていきたく考えています。

Q 子ども（中学生まで）の医療費無料化について

A 保健福祉部長 医療福祉費支給

制度、いわゆるマル福について、本市は独自に県制度で定めた所得制限を撤廃し、すべての小学3年生が医療福祉費支給制度の対象になるよう実施しています。現在、県内では11市町村が中学生までの入院及び外来の医療費無料化を実施していますが、本市の対象年齢を中学生まで拡大することは、所得制限を考慮した人数を差し引いても単年度で約5千万円以上の一般財源を必要とする試算結果となり、すべて市が負担することになります。さらには、対象年齢拡大は、国保特別会計にも影響を与え、しいては国保税率に影響を及ぼしかねません。少子化対策の一環として子育て家族への経済的支援の重要性については十分認識しており、引き続き検討させていただきたいと考えています。

Q 公共施設の耐震化について

A 教育長 校舎等教育施設の耐震

化については、平成23年4月1日現在、本市の小・中学校の耐震化率は58・8%で、県内32位ですが、平成23年度に4棟が耐震化され、年度末の耐震化率は22年度末と比較し約10%アップの68・6%になる予定です。また、今後についても本市における教育施設の耐震改修促進計画の目標として、平成27年度末には90%まで引き上げる計画で進めています。

公共施設の耐震化については、学校施設最優先を基本に対処してきましたが、今後もこの方向性に沿って期待される復興財源の確保も念頭におきながら、財政的体制を整えて耐震化率の向上に鋭意努めていきます。



23年度は、9月末までに小川南中学校校舎、羽鳥小学校新校舎の耐震工事が完了した
(写真：小川南中学校)

Q. 災害復旧最優先 進捗状況とその財源は



荒川 一秀

A. 国の助成、有利な災害復旧事業債を活用 学校等教育施設の年度内復旧を目指す

Q 災害復旧の進捗状況について
道路、下水道、教育関係、公民館、施設関係等の発注状況、復旧状況は？また、本市と国の査定額の差額については、財源をどうするかお伺いしたい。

A 副市長 発注、復旧は着々と進んでおり、道路、河川の公共土木施設の査定率は97・68%で、現在17カ所中9カ所の工事が完了し、4カ所の発注を完了しています。下水道施設は、汚水管渠布設替13カ所、査定率90・78%で10カ所の発注を完了しています。農業集落排水施設は2カ所で、査定率90・99%、2カ所とも発注を完了しています。農業用施設は、手堤池の護岸工事の査定率は70・4%（条件つき査定）、野村田池護岸工事は査定率100%で、国の決定通知を待って11月ごろ工事発注を予定しています。また、遠州池護岸に付属する農村生活環境施設が被災しており、現在設計作業中で9月下旬の査定を予定しています。なお、農業用施設の補助率は65%ですが、県の激甚災害に指定されているのでかさ上げが見込まれます。次に教育施設ですが納場小学校受水槽交換工事及びプールサイ

ド陥没復旧工事、玉里中学校の体育館復旧工事の事業費合計3,483万9千円の補助対象限度額1,812万1千円を申請し、査定率100%です。すでに玉里中学校体育館復旧工事は8月までに完了し、納場小学校の受水槽交換工事は9月末日までに完了する予定です。さらに未発注箇所については年度内復旧を目指しており、国の補助金以外の財源については有利な災害復旧事業債等を活用し、さらに不足するものについては、一般財源を充て取り組んでいきます。

Q 地域防災計画の見直しと非常用電源の確保について

A 市民生活部長 地域防災計画の見直しについては、今回の福島原発事故を教訓にして東海村や大洗町に立地している原子力施設が被害を受けた場合の被害想定を的確に行い、どのように対応するかをあらかじめ定めておくことが重要と考えます。それには、まず県と連携を図り、県内の原子力施設の状況の把握、被害を受けた場合の国や県、本市の役割の確認、情報収集、放射線量の測定ポイントの選定、水道水や土壌調査

のあり方等について明確にし、さらには適切かつ迅速な避難誘導が行えるよう情報伝達手段の確保、特に停電に強い防災行政無線の整備などを推進します。また、原子力防災対策の分野については県の専門家派遣要請などを行っていきたくと考えています。

次に、非常用電源の確保については、今回の震災を教訓に、取水用の井戸対策に4台、避難所の運営対策として県からの支給を含め10台、炊き出し対策に1台、旧園部川排水ポンプ場対策に2台を確保し、災害時に迅速に対応できるように今議会に補正予算を計上しました。また、防災行政無線については、既に今年度分の親局、移動系の無線機の発注をしていますので、この事業の中で独自に発電機などの予備電力を整備していく考えです。

防災対策の概要 （防災諸費 1億2,375万円）
・ 防災倉庫の整備
・ 給水用水袋及びブルーシートなどの消耗品
・ 防災毛布、ストーブ、扇風機、発電機（避難所、取水用井戸、玉里学校給食センター、旧園部川排水ポンプ場など）及び給水タンクなどの備品



小川 賢治

Q. 独自の放射性物質検査を 検査地域、測定結果は

A. 県と連携した検査を実施 農産物の安全性のPRに努める

Q 米の放射性物質検査について
県の放射性物質検査では放射性セシウムは検出されなかったが、市独自の検査を行ったのか。また、本市の検査地域、測定結果等をお伺いしたい。

A 産業経済部長 県では平成23年産米の安全性を確認するため、国が定めた米の放射性物質検査の仕組みにより、収穫前の予備調査と収穫後の玄米による本調査の2段階で実施しました。

その中で、まず水稻の作付判断をするための土壌検査を4月8日に県内18カ所で行い、本市の手塚地内の畑で行った検査結果が328ベクレルで、基準値の5,000ベクレルを大きく下回っていることから、作付を制限するものではないということで周知して作付にはいったわけです。

検査の仕組みについては、予備調査は6月の空間放射線量率が平常時の範囲を超える13市町村で実施のため、本市では予備調査は行われず、本調査のみ実施しました。検査地域は農林業センサスの調査区域(昭和の大合併前の町村)で、小川町、白河村、橋村、堅倉村、

竹原村、田余村、玉川村の7カ所のうち、作付け面積が極めて少ない玉川村を田余村と検査区域を統合し、6カ所で実施しました。

具体的には、8月26日に稲刈りを行った6軒の農家から、乾燥が終わり出荷できる状態となった玄米2キロの提供を受け、29日に県を通じて(財)日本食品分析センター多摩研究所で、セシウム134及び137の濃度測定を行いました。その結果30日にすべての地点で検出されずと公表され、本市のお米の安全性が確認できたわけです。

今後も調査結果の積極的な公表により、農畜産物に対する消費者の安心を確保するとともに、県や関係機関と連携して農畜産物の安全性のPRに努めていきます。

Q 石岡地方斎場移転計画について
当初、23年度供用開始を目指していた石岡地方斎場移転計画は、かつみがうら市長の組合離脱により平行線であるが、今後の事業の進行と本市への影響について伺いたい。

A 市長 かつみがうら市長の交代

により、これまで3市合意のもと進められてきた本計画に見直しの申し入れがあり、管理者である石岡市長とともに歩み寄れる部分、譲れない部分などの対応策を検討し、正副管理者会議を開きながら協議してありますが結論が出ない状況にあります。

本市への影響は、離脱または2市でということになれば大きく変更せざるを得ないわけですが、まだ調整部分が多くあり、今しばらく時間を要することですので、ご理解をいただきたいと思っております。



現施設の老朽化、敷地の狭隘による駐車場の収容台数が問題となり、新斎場の移転建設が進められている

Q. 市民の声を重視し スポーツシュレ事業の一時凍結・見直しを



戸田 見成

A. 市民への説明と周知を徹底し 市民協働体制のもと事業を推進

Q サッカー場（スポーツシュレ） の建設一時凍結・見直しを

住民からサッカー場の建設反対の署名が嘆願書として市長に提出されたが、市民の反対を押しつけてサッカー場建設は強行されるのか。今回の署名提出は執行部のやり方に対して非常に不信の念を抱いていることの現れではないのか。

A 市長 本事業に関する嘆願書が提出されたことは、市がこれまで行ってきた説明内容が十分理解されなかった反面、本来の内容と異なる情報が広まったことが大きな要因ととらえています。したがって、このような状況を真摯に受け止め、今後は市民の皆様によりわかりやすい説明とその周知を徹底するとともに、これまで以上に市民協働体制のもと本事業を推進していきたいと考えています。

また、スポーツシュレ公園よりも震災復旧・復興のほうが先のご意見を多くいただいておりますが、当然、市の震災の復旧・復興は最優先すべき大きな課題と認識していますので、一日も早い克服に向けて全力を挙げていく考えです。

Q 宮田地区の市有地（寄附地） について

A 市長 当初、宮田地区の寄附地はスポーツ、レクリエーション施設整備の候補地として検討したわけですが、本施設の整備には倍以上の用地確保が必要であり、隣接地で条件の良い土地の取得が困難な状況であったこと、取得が可能と思われた隣接地は起伏が激しく、排水先も問題視され、整備に膨大な経費を要するなど、大きな困難が生じると予測されたわけですから、当時国が保有していた先後地区の八幡池の土地約10ヘクタールが市に無償で譲渡されました。この地を前の寄附者のご理解も得て、新たな候補地として検討した結果、周辺地も含めて諸条件に恵まれているということで本事業の計画地とした経緯があります。

宮田地区の市有地については、来年度の総合計画の後期計画策定に併せ、具体的な土地利用のあり方について市民の皆さんとともに協議していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

Q 県と連携した企業誘致で 市の産業振興を

A 産業経済部長 茨城県は全国有数の企業誘致実績を誇り、平成22年は工業立地面積が190ヘクタールで、2位の愛知県を2倍以上引き離しての堂々の全国第1位です。県と連携した企業誘致については、茨城県工業団地企業立地推進協議会を通じ、関西方面への産業立地セミナーへの参加や産業視察会、産業展示会等を始め、新聞、経済紙への広報掲載や工業団地のリーフレットの配布などを行い、設備投資に前向きな企業の早期発掘に努めているところです。そのような中、茨城空港テクノパークのある県央地域がわずか1.2%で、企業誘致競争に大きく出遅れていると感じているところです。

本市としては、空港周辺の整備を重要な要素として、また企業誘致を進めるうえでの起爆剤として、茨城空港に隣接する2.5ヘクタールの敷地に直売施設、レストラン、加工施設、情報発信施設等を備えた（仮称）「空の駅」の整備を進めているところです。

7月

- 4日 議会運営委員会・広報委員会・新市建設推進委員会合同視察研修（～6日）
- 5日 かしてつ沿線地域広域公共交通戦略会議
- 8日 原水爆禁止国民平和大行進
- 13日 湖北水道企業団視察研修（～15日）
- 14日 学校規模学校配置適正化検討委員会
- 17日 玉里第二保育園及び放課後児童クラブ「るんるん」竣工式
- 19日 小美玉市空の駅整備事業推進委員会
国道6号バイパス期成会総会
議会広報委員会
- 20日 百里基地対策委員会北関東防衛局陳情
- 25日 霞ヶ浦北浦治水水環境促進同盟会通常総会
東海第二発電所・茨城県原子力オプサイトセンターの視察及び要請
- 26日 文教福祉常任委員会視察研修（～27日）
- 27日 県東市議会議長会 定例会
- 28日 茨城県後期高齢者医療広域連合定例会
学校規模学校配置適正化検討委員会
- 29日 茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会総会
産業祭実行委員会
- 31日 地域交流夏祭り大会

8月

- 1日 霞台厚生施設組合視察研修（～2日）
- 4日 総務・市民経済常任委員会合同視察研修（～5日）
- 8日 茨城地方広域環境事務組合定例会

9月

- 9日 区長会と議会との懇談会及び懇親会
- 10日 老人クラブ連合会美野里支部アサガオ展示観賞会
空の駅整備事業推進委員会
- 11日 ふるさとふれあいまつり全体説明会
- 17日 水戸神栖線・玉里水戸線建設促進期成同盟会通常総会
- 18日 石岡地方斎場組合定例会
- 19日 議員定数等検討特別委員会
議会運営委員会
- 22日 建設・百里基地対策委員会合同視察研修（～23日）
- 24日 茨城空港関連道路整備促進協議会
国保運営協議会
- 25日 茨城美野里環境組合定例会
- 26日 石岡地方斎場組合視察研修（～26日）
学校規模学校配置適正化検討委員会
ふるさとふれあいまつり前夜祭
ふるさとふれあいまつり
- 27日 県東市議会議長会 臨時会
- 30日 議会運営委員会
- 2日 市内中学校体育祭
- 3日 市内中学校体育祭
- 10日 ふれあい祭り企画運営委員会反省会
- 15日 市内小学校運動会
- 17日 スポーツ振興審議会
- 22日 秋の交通安全運動石岡地区交通安全総決起大会
福祉にっこりまつり
- 25日

被災者の住宅確保、「巴中部地区汚水処理施設」建設へ

8/10 第3回臨時議会を開催

8月10日、第3回の臨時議会が開催され、市長から提案された4議案について、いずれも全会一致で可決しました。

このうち、報告7号については、東日本大震災による被災者の住宅を確保するため、県支出金の災害救助費組替支弁費交付金を充当し、応急仮設住宅として民間賃貸住宅を借り上げるものです。

また、議案56号については、巴中部地区の汚水処理施設を上合地内に建設するもので、計画汚水処理量は459m³/日。平成25年4月の供用開始を予定しています。

審議結果（4件）

No	議案の内容	結果
6	市税条例の一部を改正する条例（専決処分） ～寄付金税額控除の適用下限額の引下げ及び個人住民税等の脱税に対する罰則の見直しに伴う改正など～	◎
7	平成22年度一般会計（専決処分） 補正額 552万円 補正後額 209億3,956万円	◎
56	工事請負契約の締結 ◇契約目的 巴中部地区汚水施設建設工事 ◇契約金額 1億9,425万円 ◇契約相手 第一テクノ・内藤工務店特定建設工事共同企業体 ◇契約方法 一般競争入札	◎
57	市道路線の認定 ～市道玉5330号線～	◎

* ◎は全会一致で可決

第21回プレゼントクイズ

*答えは議会広報 第23号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、森のレストラン“キャトルセゾン”（四季の里内）のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

問① 平成23年第3回定例議会で審議された議案等は全部で〇〇件？

問② 小美玉市議会議員一般選挙は11月〇〇日（日）？

問③ 改選後の常任委員会は総務・文教福祉・〇〇〇〇の3つとなる

◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。

また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

◇応募メ切

平成23年11月30日（水）まで *当日消印有効

◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX：0299-48-1199 Eメール：gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

第20回クイズの当選者

33通のご応募をいただきました。
当選者は以下の方々です。

佐藤 耕子さん 戸塚 利江さん
齊藤美喜子さん 関 由 枝 子 さん
松澤みつ子さん 城山真木子さん
工 藤 直 美 さん 馬場フミエさん
岡 崎 り か さん 三村れい子さん

第20回クイズの正解

問① 平成23年第2回定例議会で審議された
議案等は全部で〇〇件？ [答→11件]

問② 次回の一般選挙から適用される議員定数は
〇〇人？ [答→22人]

問③ 次回の平成23年第3回定例議会の開会日は？
[答→9月5日]

皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 震災後、旅行、行楽の自粛、風評被害、放射能汚染と経済面に悪影響を及ぼしているなか、プレミアム商品券の発行は私達消費者にとって嬉しいプレゼントになります。早速購入し利用したいと思えます。(与沢・女性)
- ▶ 小美玉市小川運動公園内に多目的室ができたので、婦人会の会議等で利用するのが楽しみです。(幡谷・女性)
- ▶ 傍聴する機会に恵まれません、「議会広報」により活動されていることがすべて知ることができます。勉強になっています。(羽鳥・女性)
- ▶ 千葉県から引っ越して2年目になります。先日の「ふれあいふるさとまつり」に初めて参加しました。精一杯盛り上げようと主催者も参加者も元気をもらえた気がします。(羽鳥・女性)

9月定例議会日程

日程	会議等の内容	傍聴
5日	本会議（議案上程）	3名
8日	本会議 （一般質問、質疑、委員会付託）	29名
9日	総務 常任委員会	—
12日	文教福祉 常任委員会	—
13日	建設 常任委員会	—
14日	文教福祉 常任委員会	—
15日	市民経済 常任委員会	—
16日	議会広報 委員会	—
20日	議会運営 委員会 本会議（報告、討論、採決）	55名



～投票しよう！11月20日(日)は 小美玉市議会議員一般選挙の投票日です～

現議員の任期が11月30日で満了になることに伴い、小美玉市議会議員一般選挙が11月20日(日)に行われます。この選挙は、これからの4年間、市政を託す代表を選ぶ大事な選挙です。

(*告示:11月13日(日)、期日前投票:11月14日(月)～19日(土) 投票時間:午前8時30分～午後8時)

投票日／11月20日(日) 投票時間／午前7時～午後6時

市議会議員選挙時の "公費負担による選挙カーの 使用自粛"を申し合わせ

9月20日の全員協議会で、現職議員有志は震災後の諸般の事情により、今回の市議会議員選挙において公費負担による選挙カーの使用を自粛する旨の申し合わせを行いました。

議会の傍聴お待ちしています！

議会の本会は、本庁舎の3階にある本会議場で行います。議会の傍聴は、議会が開催される当日に3階の議会事務局で受付をするだけです。お気軽にお越しください。

また、より多くの皆さんに議会をご覧いただけるよう本庁舎と各支所1階ロビーにTVモニターを設置し、同時放映を行っています。



(TVモニター)

12月から議員22人による議会運営

委員会も新体制でスタート！

～委員会条例を一部改正～

9月定例会において、改選後の議会22人体制における委員会構成を見直すため、市議会議員条例を一部改正しました。改正点は、これまで4つあった常任委員会を3つとし、名称及び定数を改めるものです。これにより、委員会所管の部署についても次のとおりとしました。(発議2号)

◆総務(8名)

市長公室・総務部・議会事務局・消防本部・会計課・監査委員事務局・総合支所・市民生活部に属すること

◆文教福祉(7名)

保健福祉部・教育委員会・病院事業に属すること

◆産業建設(7名)

都市建設部・水道局・産業経済部に属すること

■ 次の定例議会は12月9日(金) 13時30分 開会します

発行編集責任者 議長 野村 武勝



(議会広報委員) 前列右から、野村議長、藤井委員長、小川副委員長、中村委員。後列右から福島委員、岩本委員、山口委員、山本委員

コスモスの花が満開に咲いて秋の風に揺られています。私の家の近くのフラワールードではカンナの花が見事に咲いています。花を育てる楽しさ、花を見る楽しさ、さわやかな季節となりました。

第3回定例議会は平成23年度補正予算案、そして平成22年度決算認定について審議され、多くの皆さまの傍聴がありました。

さて、11月20日は小美玉市議会議員の選挙です。市民の皆さまの生活の中に直接かわる問題を審議する議員を選出する選挙となります。

現委員による最後の議会広報おみたま23号の発行となりました。これまでの市民の皆さまから寄せられた意見や感想の中で、議会広報は「勉強になった」「いつも楽しみにしています」とありました。ご愛読ありがとうございました。

(小川)

編集後記